

お得意様各位

プラスチック製品価格 改訂のお願い (プラスチック材料価格と電力料金の上昇)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、最近の原油・ナフサ価格の上昇（前年比+31.5%）並びに円安基調により、樹脂材料の価格が数次に亘り上昇していることは、お得意様各位もご高承の通りかと存じます。

私ども、プラスチック製品製造業といたしましては、従来から材料価格の値上がり分を直ちに製品価格に転嫁するのではなく、企業努力でもって吸収すべく社内合理化、効率化等の企業努力を真剣に積み重ねてまいりました。

昨年初来、樹脂メーカーによる数次に亘る材料価格の値上げが実施されてきました。さらに年末以降は、円相場が 70 円台/ドルの超円高状況から、90~100 円台/ドルへと、円安へ急反転したことも材料価格の上昇に拍車をかけてきました。

電力料金の大幅値上げもまた、私ども製造部門のコストアップ要因になっていて、プラスチック製品製造業各社の企業努力の限界をはるかに超える事態に立ち至り、極めて厳しい状況にあります。

さらに来年 4 月からは、消費税率のアップが実施されることが決まり、下請中小企業にとって、今後一層の採算悪化が懸念されます。

私どもプラスチック製品製造業各社といたしましては引続き合理化等の努力を重ね品質の維持向上と安定供給を図っていく所存でございますが、採算の極度の悪化から、企業存続の危機に立たされている現状より、プラスチック製品の適正価格への改訂をお願い申し上げますねばならぬ状況に立ち至っております。

お得意様各位におかれましては、何卒私どもプラスチック製品製造業各社の状況をご賢察賜り、貴社のお取引企業の価格改訂のお願いに対しまして、深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

平成 25 年 10 月

東京都中央区築地 3-12-5（築地小山ビル）
全日本プラスチック製品工業連合会
一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
一般社団法人 神奈川県プラスチック工業会
一般社団法人 中部日本プラスチック製品工業協会
一般社団法人 西日本プラスチック製品工業協会